

大学院進学について-大学院進学の準備とスケジュール

近年、自らの専門性を高めるために大学院に進学する人が増えています。大学を卒業して、すぐに大学院に進学する人、一度企業で働いてから大学院に進学する人、進学するタイミングは人によって異なりますが、大学院で学んでみたいと考えている人は多いはず。APUでは、毎年約10%の学生が卒業してすぐに大学院に進学しています。そこで、大学院進学について考えるポイントと準備のスケジュールについて簡単ですが紹介します。

1. なぜ大学院に行くのか

大学院への進学を決める一番の理由は、「専門性を身につけ、将来就ける仕事の幅を広げる」ことです。研究者や大学教員、国連職員など大学院を修了していないと就けない仕事があります。こういった分野を目指す人にとって、大学院進学は将来のキャリアのためのステップとなります。一方で、民間に新卒で就職する場合は、研究テーマによって評価に繋がらないこともあり、高い学費に対する費用対効果が十分に得られないこともあります。

メリット	デメリット（気をつけるべき点）
<ul style="list-style-type: none"> ● 学びたい領域の専門性が身につけられる ● 将来、研究者の道に進むのであれば一番の近道 ● 大学院を卒業することで、就ける仕事の幅が広がる（国連職員・国際的な NGO など） ● 海外では、会社の経営層になる昇進要件に大学院卒がある 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学費と生活費が非常にかかる ● 働き出す年齢が高くなり、新卒採用の時に不利になることがある ● 専門性が高くなる分、キャリアチェンジしにくい ● MBA 取得を目指す場合、就業経験がないと入学できない大学院が多い

2. 大学院で何を学びたいのか、目的を整理する

大学院進学を考える最初のステップは、何を学びたいのか、進学の目的を整理することです。上記のように、修士課程・博士課程と専門性を高め学位を取得していく道と法科大学院や MBA のように専門職大学院に進学するという道もあります。何を習得したいのか、どの分野で活躍したいのか、修士号、博士号を取得後の職業分野は何になるのか、などに時間と費用がかかることですので、どちらが自分の将来と合致しているのか、きちんと目的を明確にしましょう。

3. 進学を決める上で考える3つのこと

大学院進学を決める上で、必ず考えなければならない3つのポイントがあります。それは、経済力・語学力・GPA という3つです。いずれも準備するのに時間を要することばかりですので、進学を検討している人は、なるべく早い段階から以下の3つについて考える必要があります。

(1) 経済力

大学院に進学するには、お金が必要となります。特に、海外の大学院を希望する場合は、学費に加えて渡航費や生活費などが必要となります。修了までに必要な経済的な負担が可能なかどうか、ご家族に相談したり、奨学金制度がないかなど調べましょう。

国 別	項 目	学費+生活費の目安 / 年
アメリカ	私立学費+生活費	¥2,500,000 - ¥4,500,000
	州立学費+生活費	¥1,100,000 - ¥2,500,000
	その他の費用 (航空券、保険など)	¥ 550,000 - ¥ 870,000
イギリス	国立学費+生活費	¥2,560,000 - ¥4,800,000
	その他の費用 (航空券、保険など)	¥ 970,000 - ¥1,770,000
カナダ	私立学費+生活費	¥1,425,000 - ¥2,850,000
	州立学費+生活費	¥1,045,000 - ¥2,375,000
	その他の費用 (航空券、保険など)	¥ 550,000 - ¥ 870,000
オーストラリア	国立学費+生活費	¥1,890,000 - ¥3,150,000
	私立学費+生活費	¥3,150,000 - ¥4,050,000
	その他の費用 (航空券、保険など)	¥ 850,000 - ¥1,570,000
シンガポール	国立学費+生活費	¥2,400,000 - ¥4,800,000
	その他の費用 (航空券、保険など)	¥ 500,000 - ¥ 950,000
中国	私立学費+生活費	¥1,520,000 - ¥2,800,000
	その他の費用 (航空券、保険など)	¥ 400,000 - ¥ 750,000
日本	国立学費	¥ 540,000 - ¥ 960,000
	私立学費	¥ 610,000 - ¥1,120,000

(出典：大学院留学コンサルティング、『アジアで MBA』)

(2) 語学力 (日本語、英語)

大学院の入学試験には必ず語学要件が定められています。進学する国によって求められる語学力は異なりますので、必ず事前に確認してください。目標スコア達成にかかる平均的学習期間はスタート時のスコアにもよりますが、TOEFL®で約10ヶ月、GMATで約4、5ヶ月といわれています。

(英 語) ・TOEFL iBT® 79-104 ・IELTS 5.5-7.5 ・GMAT 630-700

(日本語) ・N1レベル以上

(3) GPA

専門性を高める以上、当然のことながら大学時代の成績も重視されます。トップレベルの大学院に進むのであれば、GPA 3.0-3.5程度が必要となります。

4. 海外大学院について

海外大学院の入学審査は日本のものとは全く異なり入試はありません。TOEFL®やGMATのスコアが一定基準に達していることを前提にエッセイなどの出願書類から「将来成功する可能性のある人材であるか」を総合的に判断されます。

(1) 大学院で何を専門として学ぶかを定める

各大学により設置している専門プログラムが異なるため事前にしっかり調べる必要があります。

(2) スケジュールを理解したうえで逆算した行動計画を立てる

出願時には満たしておかなくてはならない項目が数多くあり、またそれらを限られた時間でクリアすることが不可能なため、入学時期から逆算したスケジュールを立てることが最重要になります。

(3) TOEFL[®] や IELTS、GMAT や GRE などのテストスコア対策

● TOEFL[®] や IELTS

出願者が海外の大学院で研究するのに必要な英語力が十分であることを証明するために提出する。必要なスコアは出願先の大学院によって異なり、英語の出願レベルに満たない場合には TOEFL[®]、IELTS のスコアを指定日までに提出すること、または、大学院入学前に付属の語学プログラムに参加することなどの条件付きの合格となる場合があります。

● GMAT や GRE

GMAT とはライティング (AWA) ・総合分析能力テスト (Integrated Reasoning) ・数学能力テスト (Quantitative/Math) ・言語能力テスト (Verbal) の4セクションで構成されていて、読解、作文、文法、語彙・熟語、その他専門知識などさまざまな角度から実力を判定されるテストで合格判定ではなく、800点満点のスコアによる学力判定方式です。

GRE は大卒以上のアメリカ人を対象にしたテストでアメリカの大学院に進学する際に多くの大学院でスコアの提出が求められます。難関のトップ大学院になれば、これらの合格基準点も高いです。そのスコアを満たせるように早い段階から語学力を高めておくことが大事です。

(4) エッセイ、推薦状などの出願書類を準備する

海外の大学院への出願には、通常、推薦状が2～3通必要になります。自分が専門とするアカデミック領域の教授から本人の実績や学修態度、そこから鑑みる大学院レベルの学修が成功する見通しなど書いてもらう必要があります。またエッセイには入学審査官の視点を意識しなければなりません。GPA や英語のスコアが入学基準を満たしている場合にはエッセイ、推薦状が合否を決める大きな要素となります。

出願に必要な書類

- | | |
|-------------------------------------|----------|
| ●大学の成績表 | ● Resume |
| ● TOEFL [®] または IELTS のスコア | ● エッセイ |
| ● GRE/GMAT のスコア | ● 推薦状 |

5. 役立つリンク集

タイトル	URL
大学院に行こう！	http://www.daigakuin.ne.jp/
Web 大学、大学院展 daigakuten.com	http://www.daigakuten.com/
AGOS アゴス・ジャパン	https://www.agos.co.jp/
留学コンシェルジュ beo	http://www.beo.co.jp/
APU 卒業生インタビュー①	http://www.apu.ac.jp/spa/modules/studentlife/article/?contentid=194
APU 卒業生インタビュー②	http://www.apu.ac.jp/spa/modules/studentlife/article/?contentid=200
JAPAN STUDY SUPPORT	http://www.jpss.jp/ja/
NASPAA (FOR STUDENTS) ※ MPA, MPP 情報	http://www.naspaa.org/students/graduate/schsearch.asp
PPIA Program	https://www.ppiaprogram.org/ppia/what-we-do/consortium/

6. キャリア・オフィス内の資料スペースについて

キャリア・オフィスの資料スペースに、大学院進学に関する書籍や各地域の代表的な大学院のパンフレットや奨学金情報ファイルを設置しています。ぜひご活用ください。